

倍増

15カ月ぶりに900ト台を突破するな
 い、市中の厚板を扱う
 流通業者ではレーザー
 需要が繁忙を極めてい
 る。熱延品におけるレ
 ーザー(フラズマ含む)
 販売実績は4077ト
 同3.2%増加し
 4000ト超えは
 2011年2月実績以
 前、4年8カ月ぶりと
 なった。

■本社のほか、東京
 営業所、鉄鋼センター、
 山営業所の各拠点で

レーザー溶接

レーザー加工・精密板金・YAG ロボット8台

倉敷レーザー株式会社

http://www.k-lasergroup.com/
 本社：086-552-5855 九州事業部：092-933-6650
 関西営業所：078-920-3520 東北事業所：024-594-2366
 東京営業所：0422-60-3325

■各種鋼材の加工
 及び、販売事業を展開
 している。

■磨きつつ、バランスシ
 ーの Slim 化に注力して
 いる。出(いする)を制
 し、緩みを排す。会社組
 織を鍛える良い環境であ
 るとポジティブに捉えて
 いる」
 ー資産圧縮の状況
 を。強

住まいの屋根換気壁通気研究会理事長
 ハウゼコ社長

神戸 睦史氏



産業春秋

題字 今井 敬氏

今年のスポーツ関連の話題を振りかえると、「五郎丸」選手、工藤監督、丸坊主にした元首相、などが記憶に新しいですが、私の中の一番は、テニスの錦織君が世界ランキング4位になったことです(現在は8位)。
 今までテニス界では、BIG4とよばれるジョコビッチ・フェデラー・マレー・ナダルとそれ以外の選手との獲得ポイントの差が大きき、これに食い込むのは

テニス、日本人選手の活躍

至難の技とされてきました。現在のポイント制度は上位16大会に出場が義務付けられており、フィジカル面で劣る日本人にとって不利な形になっています。
 3年前のジョコビッチとナダルの全豪オープン決勝戦は5時間53分に及ぶ試合になり、サーブ&ボレーですぐにポイントを取れた昔と違い、ラケットと技術の進化と共にストローク戦になった現在では、スタミナ面でも日本人は不利。そんな状況の中、錦織君がBIG4に食い込んだ訳ですから、とても勇気づけられました。
 それと共に、このニューアスで再認識したのが、クルル素材のPRになる。さまざまな生活を支える環境技術の紹介により、一般的な鉄のイメージとは違う側面を知ってもらえる」と感想を語った。
 JFEグループは、JFEスチール、JFEエンジニアリング、JFE商事の3社による環境関連の技術、製品、取り組みなどを、「自動車」「船舶・物流」「資源循環」「再生可能エネルギー」のテーマ別に展示した。
 JFEグループは、10日夕、「エコプロダクツ2015」に登場し、JFEグループなど各ブースを視察した。狩野社長は、「JFEグループ全体で、環境に関

JFEグループ エコプロダクツ展に出展

林田・柿本社長が視察



JFEグループは、10-12日にかけて東京・有明の東京ビッグサイトで開催された日本最大級の環境展「エコプロダクツ2015」に出展し、11日午後にはJFEホールディングスの林田英治社長、岡田伸一社長、JFEスチールの柿本厚司社長、上田弘志副社長がブースを訪れた。

社長は展示について、「小中学生など子どもさんがたくさん来ており、若い人たちに当社色んな取り組みを知ってもらえるのは良いこと。わかりやすい展示になっていることもプラス要因」と評価した。JFEスチールの柿本社長は「エコプロダクツ大賞を受賞した。マリンストーンを軸に、サンプルなどで視覚的にもわかりやすい。(プレゼントの)『花の缶』も好評でスチール

「原油安の影響で鋼管需要が急減し、売上高が大幅減益、上期プラスチックの見込む。純利益は、引き当てもあって上期は予

「下期の環境認識と
 予算について。」
 「売上総利益の目安を
 月間100億円、年間1
 200億円と置いてお
 り、上期プラスチック
 を見込む。純利益は、引
 き当てもあって上期は予



4-9月期連結業績(IFRS)は純利益が前年同期比39.2%減の91億円だった。
 「国内は、赤字会社が7社あったが、4-10月は、累計でほとんど黒字化した。薄板のコイルセンタラップ安も加わり、厚板溶断、プラスチック系も、鋼管在庫は毎月、